

TOPICS

出雲産業フェア2016

お客様紹介：西尾自動車㈱ 大田店

全国経営研修会

今月のプレゼント：年越しそば

天ぷら油でキャンドルを作ろう



親子で楽しくキャンドル作りができました。



11月5日と6日、出雲ドームで出雲産業フェア2016が開催されました。出雲産業フェアは、地元企業を中心に県内外の様々な製品や技術が一堂に会するまたとない機会です。企業や大学・高校・公的研究機関の新製品の展示や先進的・革新的な技術や研究が紹介され、実際に体験することができます。今年で14回目を迎え、市民の間に浸透し、家族連れなどたくさんの方でにぎわいました。

当社は今年も、使用済み天ぷら油を使って、キャンドル作り体験を行いました。使用済み天ぷら油が燃料になることを体感してもらい、リサイクルを考えるきっかけにすることと、リサイクルを楽しく実践することを目的としました。

「かわいいから、クリスマスに使ってみたい」

「天ぷら油でステキなキャンドルができた！」

「廃油せっけんみたいに、捨てるものが有効利用できる」

「とても楽しく出来たので、自宅でもやってみたい」

「油を利用しているのが意外で、おもしろかった。家庭にある材料で作れて、楽しかった」

「もっと大きな、変わった形のものが作りたい」

子供たちに大人気で、予約もすぐにいっぱいになり、隙間時間を利用してたくさんの方々に体験していただきました。

このように新しい燃料として理解していただけるよう活動していくとともに、地域の資源を地域で活用し、子供たちや地域の方々のリサイクルへの理解を深めてまいります。

(長野)

お客様紹介

西尾自動車株式会社 大田店 様

〒694-0052

島根県大田市久手町刺鹿1908-1

TEL 0854-83-7071

FAX 0854-83-7073



点検中の高橋店長



感じて、楽しんで、笑顔でお帰り下さい

笑顔の車検専門店

10月4日に西尾自動車(株)大田店として、オープンしました。現在は、車検整備の認証工場ですが、指定工場として認定されれば、「車検の速太郎 大田店」として、大々的にPRしていきます。

「速太郎」ブランドは、全国的に認知度が高く、目の前で、説明・確認の立ち合い対話検査方式で、お客様に安心して頂ける品質です。その内容は、

- ・明快で明瞭な料金
- ・検査料は同一料金
- ・法定56項目他徹底検査となっています。

早めに予約すれば、車輛持ち込みから車検終了まで、最短で45分です。そのまま乗って帰ることができます。

大好評のオイル交換

オイル交換だけのお客様も大歓迎です。速く...ドライブスルー方式で、下抜きに5分安く...納得のいく価格安心...高品質オイルを使用しています

快適な作業環境

高橋店長が出雲店に在籍していたとき、大田方面のお客様が来店され、「大田店があれば、近くて便利だ」という声が多数寄せられ市場調査の上、大田店出店となりました。店舗およびサービス工場は新築で、とてもきれいで、効率が良い作業環境になっています。「車検整備の他、レンタカー・観光バス事業も行っています。車のことなら何でもご相談ください。」と、高橋店長から言葉を頂きました。米子店、出雲店を渡り歩かれた高橋店長は、とても気さくで頑張り屋の印象を受けました。

検査員募集中

現在、検査員(自動車整備士)を募集中です。きれいで居心地のよいサービス工場を維持し、快適な作業環境が提供できるよう、日々の清掃は欠かしません。自動車は、仕事はもちろん娯楽やレジャーに欠かせず、日常生活に不可欠な存在です。地域のかたがたの大切な自動車の車検・整備をお客様本位に徹した品質でおこない、お客様に喜んでいただくことが最大の醍醐味です。車好きな人、広く求めます、是非、お問い合わせください。

(聞き手:長野)



いつも笑顔で接客の中島様

山陰興業の廃油タンクがいっぱいになりますように!!



もみじの会 ～酒井様講演～

酒井様は、九州の石炭会社に勤めたことをきっかけに鉱物資源の世界へ身を置くことになり、島根に戻ってふるさとの地下資源と長い間、関わって来ました。その長き鉱物人生の中で覚えた、“輸入ばかりに頼るある種の危機感から、来るかもしれない必要時に備え、何かの役に立ちたい”と島根の地に眠る地下資源について「しまねの地下資源～歩みと期待」にまとめられました。

島根県は実は、地下資源が豊富で、江戸中期から近代日本までの間、何度か産出量や精製量が全国のトップクラスにあったほどです。日本史の教科書で学んだ「鉱山の閉鎖」とは、根こそぎ取り尽くしてしまったからだと思っ
ていましたが、ある時は国策(戦争)、ある時はグローバル化(経済)と時代の変化に影響された鉱山経営の閉鎖との繰り返しだったそうです。だから今でも私たちが住むこの地下には、資源が残っているというのです。

しかし、現在は外国から良質で安い鉱物が入り国産鉱物の需要がありません。講師曰く、日本は技術国家である、そのふるさと最前線が産技センターや地元企業の若き技術者なのだと。今まで研究で培った技術でもって鉱物資源の新しい用途を探る飽くなき

探求こそ将来に必要なことだと、訴えておられました。

一人の鉱物専門家の歴史を知ると共にゴールは見えないといわれる研究開発でもいつかは、日の目を見る希望があるのだと思いました。そのためには今からでもこつこつと地道に実験を積み重ねる努力が大切なのだと思いました。

(高橋)



酒井様著書



酒井様へ花束が贈呈されました。



講演会の様子。右端が酒井様



キッコウハグマ(亀甲白熊)

初秋に細い茎を立てて、その周りに結構多くの花をつけます。ただし、ほとんどの場合、花は開花せず閉鎖花(開くことなく自家受粉する花)です。稀ですが、開花すれば頭花は密にくっついた3個の花からなります。奥出雲町で撮影しました。

頭花の拡大図(右写真)



全国経営研修会に参加して

10月19, 20日の二日間にわたり、全国オイルリサイクル協同組合の経営研修会に参加させて頂きました。

1. 危機を乗り越え継続企業実現を 共感経営が危機を乗り越える

(講師：ミック研究所 佐藤先生)

社員の定着には資質(個人の考え方、価値観、意識)、適正(職務能力)、相性(職場風土、人間関係)、処遇(報酬、目標と評価)、環境(立地等の物理的環境、社内教育環境)の5つが起因している、高度成長期と比べ社員の会社に対する帰属意識は非常に低くなっており、人が育ちにくい状態になっている。若年層人口が減る中、この先優秀な人材は中小企業に集まらない。だから育てる必要がある、優秀かそうでないかは教育によっていくらでも変えられる、問題は社員をどうやって定着させ育てるかにある、そのためにはキーワードとして「共感」があげられる。

上記の5つに着目し社内を変えていく必要があるが特に資質の部分が重要でここへ働きかけるためには「共感」を増やす必要がある。そのためには社内のコミュニケーションを活発にし、喜びや達成感をともにし、社員で良かったと思えるような職場をつくる。

現在、当社もチームが違えば当然、同じチーム内であっても共感が不足しているような気がしますが、具体的にどうやればよいかは今後の課題ですが、まずはチーム内で共感できるようなコミュニケーション環境を作っていきたい。

2. その他

研修そのものも勉強になりましたが、組合員の方々と交流ができたことも大きな収穫となったと思います。同じ市場環境の中、各社とも厳しい状況が続いているようですが少しずつ好転しておられるようです。

同業の方と話をすると同じステージで話ができるので、もっと交流を深めて他社の良い所は学んでいきたいです。

(抜粋)

(大國)



研修会の様子

「小さくても勝てる」を読んで

私の住んでいる鳥取県の平井知事が本を書かれた。最近県内のイベントやメディア等でよく平井知事を目にすることが多い。まさに鳥取県の顔であり、鳥取県を全国でPRしている。顔はまじめさがにじみ出ているが、発言はわかりやすく覚えやすいダジャレを連発している。「スタバはないけど、日本一のスタバはある。鳥取大砂丘ですよ」全国で唯一スタバがない県だったが、この発言のおかげで、2014年にスタバが鳥取県にやってきた。

小さくても勝るとタイトルにあるように平井知事は国がやらないことを全国に先駆けて行い、その後全国に広がったことを

いくつも行っている。危険ドラッグ条例やレバ刺しの全面禁止などは鳥取県が先に条例をつくった。小さいからこそ決断が早く行動にうつすスピードが速い。

平井知事の県民を豊かにするために正しいことを早く行う姿は県民の一人である私は誇りに思う。

小さくても勝てる。

(山口)



灰分分析実験の研修 その後

サンエム株式会社の坂東氏と大久保氏の2名が、分析実験の研修を行っています。

「先月の1週間の実習ではみっちり指導していただき、一通りの手順は習得でき、うまく測定できたと思います。その後、本格的に測定を初めてみると、想定外の事が起こり、思うような測定ができません。もっと経験を積んでいかないといけないと思います。今までやってきた業務以外の経験で戸惑うことばかりですが、周囲の皆さんの協力を得て、頑張っています。今後もしろいろな場面で、山陰興業と交流できることを願っています。」と、大久保様から貴重な感想を頂きました。



緊張の連続ですが、一息ついた瞬間です。
(写真は久保様)

「ヒイラギ」 葉の縁にあるトゲに触ると痛いことから、ヒリヒリ痛むことを意味する「ひいらぐ」が語源になっています。老木になると、葉のトゲがなくなってしまいます。



冬場の積雪に備えて、除雪機の点検を行いました。除雪機能が十分に発揮できるよう、入念にメンテナンスを行いました。エンジンオイルは減っておらず、バッテリーの状況も良好で、スムーズな動作状況でした。今年は寒くなって、雪が多いそうです。除雪を迅速に行って、業務に支障が出ないようにしていきます。(大國)

成功への実践

言葉は人生を左右する

尾身幸次 著



言葉の使い方がプラスかマイナスかによって、その人の不幸が決まるといつても過言ではない。つねに言葉に慎重な注意を払い、いかなるときにも積極的な言葉以外を使わないように心掛ける。心の思い、考え方に大きく影響を与えるのが自分の言葉だから。
(長野)

社長が薦める今月の一冊

里山資本主義

日本経済は「安心の原理」で動く

藻谷浩介著

再度の登場です。あれから何度も赤線を引きながら読みました。今度感心したところは、

人間の価値は、誰かに『あなたはかけがえのない人だ』と言ってもらえるかどうかで決まる。人との絆を回復することで、ようやく『自分は自分でいいんだ、かけがえのない自分なんだ』ということを実感できる。(p-290)

私の師匠、牟田学理事長から教えられたことの一つ、「事業も個人も、強く強く必要とされることをめざせ」

最近の国勢調査によれば、またまた島根鳥取の人口3%前後減少した。しかも変わらず両県は全国最下位。当然経済規模は縮小するとのニュースです。否定的な情報ばかりが、私たちのまわりに満ちています。しかし考えてみれば、約50年前のオリンピックは、これから高度成長が始まる時でした。当然人口も今よりはるかに少なく、貧しかった。しかし国民の心は、明るく向上心を持っていた。私は学者ではないので、経済論を述べるつもりはない。しかし、低価格大量生産依存の経済は終わってしまっている。

一つ一つの会社、一人一人が地域を誇らしく思い、お互いに強く必要とされ、そして、かけがえのない存在である為の努力をする。結果は、この地方は輝くに違いないと信じています。(山根)



今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で2名様に年越しそばを差し上げます。クイズの締切は11月末です。奮ってご応募下さい。

Q：プロ野球日本シリーズは北海道日本ハムの勝利で終わりましたが、最優秀殊勲選手は誰でしょう。

先月号の答は、「1人」でした。
雲南市加本様、三次市坪井様が
当選です。
おめでとうございます。



応募用紙(答)

住所、会社名、氏名(必ず氏名をご記入ください)

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

蔵書新着状況

- ・ **小さくても勝てる** 平井伸治 中央公論新社
平井知事の斬新な発想とダジャレで全国から注目
山陰「砂丘の国」のポジティブ戦略を徹底紹介
- ・ **酒から見た古の出雲** 堀江修二 今井印刷
出雲地方のお酒のルーツを探る
神話の時代から出雲には「日本酒」があった
- ・ **鳥取県の歴史散歩** 山川出版社
- ・ **鳥取県まるごと読本** 吉川捺美 今井印刷
- ・ **風景の宝石箱 in Tottori** 加藤将 コマツコーポレーション
鳥根・鳥取のことをもっと知ろう
- ・ **最強英語脳を作る** 茂木健一郎 ベストセラーズ
- ・ **週刊ダイヤモンド** 2016年10月29日号
特集 コンビニを科学する
コンビニができるまで新店オープンに密着!

編集後記

平成28年熊本地震で、熊本城は甚大な被害を受け、その復旧・復元には多大な費用と長い年月が見込まれるようです。そんな中、早期の復興を願う人たちの熱意により、11月1日より復興城主制度が始まりました。以前より、一口城主制度があったようですが、熊本城災害復旧支援金と融合したような取り組みと感じられます。熊本城を愛するものとして、賛同せずにはおられず、早速申し込みました。ちょっとだけですが、復興の助けになればこんなにうれしいことはありません。また、私も一城の主ということになります。熊本城は、以前からあこがれのお城で、あの雄姿にはほれほれしていました。何時か再訪をと考えていた矢先、このたびの地震で悲惨な姿になってしまい、涙がこぼれそうでした。熊本市長は天守閣を3年後に、城全体は概ね20年以内に完了する考えを表明しています。美しい熊本城の復旧が待ち遠しいです。(長野)

下記書籍を購入希望の方は、弊社までお知らせ下さい。在庫数が少ないため、出版局から取り寄せてお届けします。『成功への実践』(税込10,584)
『君に成功を贈る』(税込1,944円)



発行日：毎月10日
発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472
山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野
E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp
印刷：授産センターよつば印刷係
ホームページ (<http://www.e-skk.co.jp>)

山陰興業蔵書本をお貸しします

本誌で紹介した蔵書本を、広く皆様にお貸しします。

営業マンや当編集部へ遠慮無くお申し付け下さいませ。